

平成元年度 和歌山県文化奨励賞

こ ばやし とし じ
小 林 稔 侍 (芸名 小林稔侍)

住 所：東京都渋谷区

出 身 地：和歌山県伊都郡かつらぎ町

生 年：昭和18年

◎業績及び経歴

昭和36年に和歌山県立笠田高校普通科卒業後、映画の道を志し、上京。東映第10期ニューフェイスに合格、1年間の養成期間を経て、昭和37年に東映に入社。昭和55年からは、鈍牛倶楽部に所属。

昭和40年に映画「地獄の波止場」でデビュー。以後、仁俠映画を中心に脇役として活躍。特に深作欣二監督の「軍旗はためく下に」（昭和47年）、「仁義なき戦い」シリーズ(昭和48年～49年)でピラニア軍団のひとりとして活躍する。

昭和53年映画「冬の華」の板前役を好演、以来、映画、テレビドラマで活躍。昭和62年には、「夜汽車」で日本アカデミー賞優秀助演男優賞を受賞。映画俳優としての地位を固める。

代表作には、「夜汽車」の他「いこかもどろか」（昭和63年）「海へーSEE YOUー」（昭和63年）「善人の条件」（平成元年）等がある。

また、昭和61年には、NHK連続テレビ小説「はね駒」で実直な父親役を演じ、一躍名を高めた。おっとりとした寡黙な演技の中に、アウトロー的な役や中年サラリーマン的な役もこなし、奥の深い演技を感じさせる。

スクリーンにおける優れた演技を通して、映画文化の向上に尽くした功績は、大きい。